

堺市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況(全体像)

区分	令和元年度～令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末時点の活用率(%)	令和7年度の活用ポイント	未執行額の活用方針
活用額(円)	346,499,704	72,398,265	418,897,969	78.2	堺市は、森林も少なく都市部に位置するため、「木材利用」「普及啓発」を優先的に取り組むこととしている。 そのため、令和7年度も令和6年度同様、学校や図書館、区役所などの公共施設における木造や木質化、木製品の購入等の取組を中心に実施。 また、ビッグバンや堺自然ふれあいの森等で、市民向けの木育イベントやワークショップを開催し、森林の公益的機能や木材利用の意義等を伝える普及啓発事業を実施。	市の施設の新築・改築時における木造化・内装木質化等の木材利用に要する経費の財源として活用
譲与額(円)	436,812,000	98,759,000	535,571,000			
基金積立額(円) ※利子収入含む	437,011,955	99,148,791	536,160,746			

堺市では譲与額を一旦、「堺市はなみどり基金」として全額積立てを行っている。

【令和7年度末時点 基金残高】 117,262,777円

■令和7年度の具体的な活用状況

事業区分	事業名	事業総額(円)			事業内容
		(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税(円)	(B)うち他の財源(円)	
木材利用・普及啓発関係	都市農業交流事業	968,000	853,600	114,400	フォレストガーデン内にベンチを設置
木材利用・普及啓発関係	都市農業交流事業	1,815,000	1,608,200	206,800	フォレストガーデン内に施設案内標識を設置
木材利用・普及啓発関係	都市農業交流事業	3,960,000	3,014,000	946,000	フォレストガーデン内の里山エリアに日除け施設を設置
木材利用・普及啓発関係	都市農業交流事業	18,480,000	3,780,000	14,700,000	フォレストガーデン内の普及啓発に資する里山保全のための間伐、伐採、枝打ち及び貸与備品の購入

木材利用・普及啓発関係	公立認定こども園運営事業(運営)	4,925,679	4,925,679	0	公立こども園で使用する園児用ロッカーの更新
木材利用・普及啓発関係	ビッグバン管理運営事業	990,000	990,000	0	泉ヶ丘公園整備で発生した伐採木を使用した、丸太ベンチ、木製玩具の製作、展示
木材利用・普及啓発関係	ビッグバン管理運営事業	998,000	998,000	0	ビッグバン後背地や泉ヶ丘公園に残された里山環境を保全、活用し、本市の森林環境の保全の啓発や人材育成を行うための計画策定を支援
木材利用・普及啓発関係	里山みどりの保全事業	1,991,000	1,991,000	0	南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性等を広く発信するために、緑地保全木製看板を設置
木材利用・普及啓発関係	里山みどりの保全事業	2,512,546	2,512,546	0	緑地の維持管理や活用等、緑地保全への市民・企業等の参画を図るためのプロモーション活動「堺の森活」(平成27年度からの「堺の森再生プロジェクト」を令和元年にリニューアル)を実施するとともに、南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性等を広く発信
木材利用・普及啓発関係	里山みどりの保全事業	286,000	286,000	0	保全緑地の枯損木の撤去
木材利用・普及啓発関係	里山みどりの保全事業	1,996,000	1,996,000	0	堺自然ふれあいの森が主体となり、南部丘陵の緑地保全に関する啓発や人材育成
森林整備	里山みどりの保全事業	297,000	297,000	0	南部丘陵緑地保全・活用計画策定に係る大阪公立大学との共同研究
木材利用・普及啓発関係	区役所庁舎管理事務(中区)	4,316,400	4,316,400	0	中区役所市民課及び保険年金課の窓口用椅子の更新
木材利用・普及啓発関係	中学校給食事業	25,476,000	25,476,000	0	中学校教室の生徒用ロッカーの購入
木材利用・普及啓発関係	図書館管理運営事業	19,353,840	19,353,840	0	机・椅子・書架を増設

■今後の実施計画

今後は、堺市森林環境譲与税活用ガイドラインに基づき、公共建築物等の木造・木質化や木製什器の導入など木材利用を促進することに加え、森林の役割や木材利用の意義について市民の理解を深めるための普及啓発活動に取り組む。なお、地域の実情や社会情勢の変化等に応じ、その他の分野についても必要に応じて検討する。

事業内容

木製ベンチ設置

- 堺市南区にある「フォレストガーデン」内の市民菜園エリアに大阪府産材を使用した木製ベンチを設置した。

【事業費】968,000円（うち譲与税853,600円）

譲与税は、材料費及び木工事費等にかかる部分に充当

【実績】背付きベンチ1台、背なしベンチ3台

木材使用量約0.49m³（大阪府産材・杉）

大阪府CO2森林吸収量・木材固定量認証制度
において令和7年9月5日に認証を取得



取組の背景

- 「フォレストガーデン」内の市民菜園エリアにベンチが少ないことから、昨年度設置したパーゴラの下及び休憩場所から離れた場所に木製ベンチを設置した。

工夫・留意した点

- 周囲の景観を配慮したデザインのものを採用した。
- 使用する木材に保存材を含浸させ、腐れ・シロアリなどの劣化を遅らせ、木材の耐久性を向上させる仕様とした。

取組の効果

- 施設利用者の休憩等に役立っている。

基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円	②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

事業内容

施設案内標識改修工事

- 堺市南区にある「フォレストガーデン」内に大阪府産材を使用した施設案内標識を設置した。

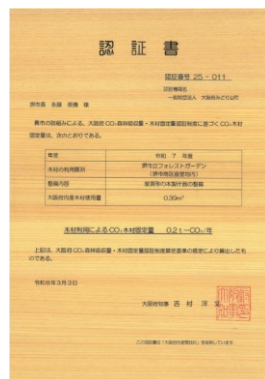
【事業費】1,815,000円（うち譲与税1,608,200円）

譲与税は、材料費及び木工事費等にかかる部分に充当

【実績】案内標識7か所

木材使用量約0.52m³（大阪府産材・杉）

大阪府CO2森林吸収量・木材固定量認証制度
において令和8年3月3日に認証を取得



取組の背景

- 「フォレストガーデン」内の木製の施設案内標識が老朽化していたことから、昨年度に引き続き残りの案内標識7か所の建替えを行った。

工夫・留意した点

- 周囲の景観を配慮したデザインのものを採用した。
- 使用する木材に保存材を含浸させ、腐れ・シロアリなどの劣化を遅らせ、木材の耐久性を向上させる仕様とした。

取組の効果

- 案内標識は以前に比べ、来園者の目につくようになり、様々なご意見をいただいている。

基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円	②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

事業内容

里山学習用パーゴラ設置工事

- 堺市南区にある「フォレストガーデン」内の里山エリアに大阪府産材を使用したパーゴラを設置した。

【事業費】 3,960,000円（うち譲与税3,014,000円）

譲与税は、材料費及び木工事費等にかかる部分に充当

【実績】 サイズW7200mm×D3000mm

木材使用量約2.28m³（大阪府産材・杉）



取組の背景

- 「フォレストガーデン」の里山エリアにおいて、木育学習の場として使用する際に、日陰を求める声が多かったため、パーゴラを設置した。

工夫・留意した点

- 周囲の景観を配慮したデザインのものを採用した。
- 使用する木材に保存材を含浸させ、腐れ・シロアリなどの劣化を遅らせ、木材の耐久性を向上させる仕様とした。

取組の効果

- 木製製品を使用することで温かみをもたせ、ワークショップ参加者の休憩や日除け場所として役立っている。

基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

事業内容

フォレストガーデン指定管理業務

- ・ フォレストガーデンの指定管理業務のうち、里山保全等にかかる樹木管理を行い、市民が身近に自然と関われる場を整備することに森林環境譲与税を活用した。
- ・ フォレストガーデンの樹木について学ぶエリアを創出する事業において、地面舗装や、ワークショップで使用するウッドチップ等を指定管理業務貸与備品として購入した。

【事業費】 18,480,000円（うち譲与税3,780,000円）

通常の指定管理業務（維持管理等）の範囲外である樹木について学ぶエリアの整備及びワークショップに活用

【実績】 園路整備に伴う間伐、枯木伐採
竹ご飯づくりなどのワークショップ：4回



取組の背景

- ・ 堺市南区にあるフォレストガーデンを活用し、木育体験等を実施するにあたり、里山保全及び利用者の安全確保のために枝打ち・伐木等を指定管理者にて実施した。

工夫・留意した点

- ・ 木育体験等の実施に向けて、園内に新たな自然を眺めながら学習できる小道の整備や通行等に支障となる樹木を対象とした伐木等を行っている。

取組の効果

- ・ 都市部において里山を感じられる場所の保全及び遊歩道等の整備を行うことで木育について学びの場を提供している。

基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

公立認定こども園 園児用ロッカー更新

- ・ 保育室で使用する園児用ロッカー（26台）を国産材を用いて更新した。

【事業費】 4,925,679円（全額譲与税充当）

【実績】 3人用ロッカー19台

4人用ロッカー2台

6人用ロッカー5台

木材使用量約2.26m³（和歌山県田辺市産材・檜）



□ 取組の背景

- ・ 園児用ロッカーの経年劣化に伴い、国産材を用いて更新した。

□ 工夫・留意した点

- ・ 園児等に危険のないよう角が無いような丸みを帯びた仕様とした。
- ・ 保育室に設置するにあたり、長時間の使用に耐えうる仕様とした。
- ・ 使用する接着剤・塗料等を規格に準拠したものとし、室内空気を汚染する化学物質の発生が無い若しくは少ないものとした。

□ 取組の効果

- ・ 保育室全体が明るくなった。
- ・ 自然素材ならではの柔らかい雰囲気をつくり、こどもが落ち着きやすい環境を作ることができた。
- ・ 触り心地がよく、木への親しみを感じやすくなった。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人		⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

ビッグバン木製品制作業務

- ・ 泉ヶ丘公園を整備するにあたり昨年度ワークショップで伐採した木材を加工し、ベンチや木製玩具（コマやモルックなど）を製作。
- ・ こどもたちが鉄や紙のやすりを使って木製品を完成させるワークショップを開催。完成後、ベンチや木製玩具はビッグバンで活用。

【事業費】990,000円（全額譲与税充当）

【実績】参加人数約70名

木材使用量0.17m³（泉ヶ丘公園・楠）



□ 取組の背景

- ・ 児童厚生施設であるビッグバンの隣地で、泉ヶ丘公園の新規整備による木の伐採が予定されていたため、木育の取組に活用。
- ・ 実際にこどもたちがチェーンソーやのこぎりで伐採した木が、加工により姿を変え、木製品となるまでの工程をこどもたちがワークショップで体験。

□ 工夫・留意した点

- ・ 木に関連する絵本（「木はいいなあ」など）の読み聞かせを実施する中で丸太ベンチが出来上がるまでの過程を説明し、体験してもらった。製作した木製品については、コマ回しやモルック大会など、こどもたちが遊びながら楽しく学べるよう工夫した。

□ 取組の効果

- ・ ワークショップを通じて、こどもたちが楽しみながら森林の機能や木材利用の意義などを学習。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人		⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

事業内容

ビッグバン後背地及び泉ヶ丘公園の樹林地保全活用方針等策定業務

- ビッグバン後背地や泉ヶ丘公園に残された里山環境を保全、活用し、本市の森林環境の保全啓発や人材育成を行うための方針を策定。
- 来年度、この方針をもとに詳細な実施計画を策定し、こどもたちを対象とした担い手育成のためのイベントやプログラムを実施予定。

【事業費】 998,000円（全額譲与税充当）



図3 令和8（2026）年度におけるゾーン設定案

取組の背景

- 児童厚生施設（児童館）であるビッグバンの後背地及び現在整備中の泉ヶ丘公園内の一部において、まとまった樹林地が残っており、駅前空間に里山の環境が残されている。
- ビッグバン後背地及び泉ヶ丘公園の樹林地の保全活用にむけた仕組みづくりのための方針を策定し、環境学習のプログラムなどを検討することで、こどもたちが里山の管理体験などを通して自然の大切さや豊かさを体感することができる。

工夫・留意した点

- ネザサ刈りなど保全をメインとした間伐体験のほか、こどもたちが楽しみながら自然に親しめるよう昆虫や植物の採集や木を使ったクラフト、ツリーハウスづくりといった多岐にわたるプログラムを展開できるよう課題の整理・分析を実施した。

取組の効果

- 方針策定後の活動（計画策定やイベント及びプログラムの実施）や今後の課題、地域連携の可能性などを整理することができた。
- 里山保全について活用方針を策定する中で、庁内の関係課や地元住民などとの間で今後の方向性を共有することができた。

基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

南部丘陵緑地保全木製看板設置等業務

- 南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性等を広く発信するために、堺市のシンボルパークである大仙公園内に位置する堺市都市緑化センター内に緑地保全啓発のための可動式の木製看板を設置した。

【事業費】 1,991,000円（全額譲与税充当）

【実績】 看板サイズ 縦1,620mm×横1,200mm×3面
木材使用量 約0.58m³（大阪府産材・杉）



□ 取組の背景

- 堺市都市緑化センターの親子連れを中心とした来館者に向けて、看板を通して南部丘陵の魅力や緑地保全の大切さを知ってもらい、南部丘陵における緑地保全の拠点施設である「堺自然ふれあいの森」等の南部丘陵を訪れるきっかけとするため設置を行った。

□ 工夫・留意した点

- 堺市都市緑化センター内で実施するプログラム等で活用しやすいように可動式の看板に仕上げた。
- 可動式にすることで板面が縮小し、軽量化する必要があったが板面を3面にすることにより、より効果的な啓発看板に仕上げた。

□ 取組の効果

- 南部丘陵のもつ緑の価値・魅力の普及啓発の推進
- 堺市における、特別緑地保全地区や保全緑地等の緑地保全の取組への理解の促進
- 南部丘陵の緑地保全における拠点施設である「堺自然ふれあいの森」への来訪者の増加と、環境教育プログラムや里山保全ボランティア養成講座への参加の増加
- 堺市はなみどり基金における、寄附の増加

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

南部丘陵緑地保全プロモーション業務

- ・南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性を広く発信するために、緑地の維持管理や活用等及び緑地保全への市民・企業・学生等の参画を促進するためのプロモーション活動である「堺の森活」を実施した。

【事業費】 2,512,546円（全額譲与税充当）

【実績】 参加人数103名（市民49名・企業46名・学生8名）



□ 取組の背景

- ・南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性等を発信するため。
- ・南部丘陵の緑地保全の普及啓発及び人材育成・担い手確保のため。
- ・南部丘陵の緑地保全における市民・企業・学生等の参画を促進するため。

□ 工夫・留意した点

- ・年齢に応じて、里山管理体験（下草刈り、間伐、玉伐り）と里山環境体験（クラフト体験）に区分したこと。
- ・南部丘陵で育まれた上神谷米（にわだにまい）や地元野菜を活用した昼食の提供、ならびに朝採れ野菜の販売を通じて、地産地消の魅力に触れる機会を創出したこと。

□ 取組の効果

- ・南部丘陵のもつ緑の価値・魅力の普及啓発の推進
- ・堺市における、特別緑地保全地区や保全緑地等の緑地保全の取組への理解の促進
- ・堺市はなみどり基金における、寄附の増加
- ・緑地保全の新たな担い手育成

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

保全緑地枯損木撤去業務

- ・「堺の森活」実施場所である保全緑地において、枯損木の撤去を行った。

【事業費】 286,000円（全額譲与税充当）

【実績】 枯損木の撤去（5本）



□ 取組の背景

- ・ 南部丘陵の緑地保全のプロモーション活動である「堺の森活」を安全に実施できるよう枯損木の撤去を行った。

□ 工夫・留意した点

- ・ 枯損木について、地際から高さ約60cmの位置で伐採、伐採木を約1mの長さで玉切りし、地盤が安定した安全な場所に存置するものとした。

□ 取組の効果

- ・ 間伐による地表面への日照の確保等、里山の保全
- ・ 安全確保による緑地保全の取組の推進

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

堺自然ふれあいの森 指定管理

- ・堺自然ふれあいの森の指定管理業務のうち、南部丘陵の緑地保全に関する啓発や人材育成にかかる費用に森林環境譲与税を活用した。

【事業費】 1,996,000円（全額譲与税充当）

【実績】 大学生等：6名

堺自然ふれあいの森がインターン生として受け入れている大学生等に対して、里山整備及び環境教育が行えるよう実習（里山の整備作業・植生調査・一般参加者への里山管理体験の提供等）を行った。



□ 取組の背景

- ・豊かな里地里山を次世代に継承していくために、自立して里山保全のための取組を実践していける次世代の担い手の育成が重要であることから、大学生等が将来的に自立した担い手として里山保全に関わることを目的に、指定管理者がインターン生等の受け入れを行い、実習を行った。

□ 工夫・留意した点

- ・南部丘陵についての理解を深めるための講義や、行政、学識者など様々な立場の人と意見交換ができる機会を設けた。

□ 取組の効果

- ・緑地保全の新たな担い手育成

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人		⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

南部丘陵緑地保全・活用計画策定支援業務

- 南部丘陵の保全優先地区（約160ha）において現地調査や航空写真の判読等を行い、評価・ゾーニングを踏まえた基礎調査を行った。

【事業費】 297,000円（全額譲与税充当）

【実績】 評価・ゾーニングを踏まえた基礎調査を実施

□ 取組の背景

- 南部丘陵の今もなお優れた里地里山の風景を有し、多様な生き物が息づく貴重な緑地を保全していくための計画を策定するための基礎調査を行った。

□ 工夫・留意した点

- 航空写真等を用いて、植生等の変化の調査を行った。
- 今後実施される共同研究業務に向けて、研究の進め方について検討を行った。

□ 取組の効果

- 南部丘陵の植生等の評価
- 今後の共同研究業務の方針策定

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人		⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より



□ 事業内容

木製の窓口用椅子の購入

- ・ 中区役所 1 階の市民課及び保険年金課の窓口用椅子を木製の椅子に更新した。

【事業費】 4,316,400円（全額譲与税充当）

【実績】 アームチェア19脚、チェア8脚

木材使用量 約0.48㎡（岐阜県産材・ナラ）

■市民課



■保険年金課



□ 取組の背景

- ・ 中区役所 1 階の市民課及び保険年金課の窓口用椅子は、長期使用により老朽化していたため、令和 7 年度に木材を利用した椅子に更新し、快適な環境を整えた。

□ 工夫・留意した点

- ・ 汚れても簡単に手入れができるよう、座面をビニールレザー貼りとした。

□ 取組の効果

- ・ 市民課及び保険年金課における窓口環境が改善され、来庁者の快適性の向上を図ることができた。

◇ 基礎データ

①令和 7 年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※ 1）：76ha	
③林野率（※ 1）：2.6%	④人口（※ 2）：826,161人		⑤林業就業者数（※ 2）：4人

※ 1：「2020農林業センサス」より、※ 2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

生徒用ロッカーの設置

- ・ 中学校給食の実施に向けた生徒用ロッカーの設置
- ・ 生徒が安全に配膳するために通学用カバン等の収納棚を設置

【事業費】 25,476,000円（全額譲与税充当）

【実績】 8人用300台

木材使用量約3.32㎡（大阪府産材・檜ほか）



□ 取組の背景

- ・ 令和7年度から全ての市立中学校にて全員喫食制給食を開始するために、教室での給食配膳が安全にスムーズに実施できるよう教室環境を整える必要がある。

□ 工夫・留意した点

- ・ 木製天板の木口の角に丸みをつけることで、生徒等が製品の角に衝突して怪我することを防止した。

□ 取組の効果

- ・ 製品天板に木材を活用することで、重量物の落下等による製品の歪みや凹みを防止することができる。
- ・ 木材を活用することで、学習机や椅子との調和性が向上し、教室全体で木の温もりを感じられる。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

事業内容

木製備品購入

- 堺市東区にある東図書館に、国産材を用いた机・椅子・書架を増設し「読書・学習スペース」として整備した。

【事業費】 19,353,840円（全額譲与税充当）

【実績】 木製キャレルデスク 20台、木製机5台、
木製椅子38脚、木製書架3台
木材使用量 約2.13m³



取組の背景

- 東図書館は、急行停車駅である北野田駅前ビルに立地し、滞在利用目的の来館者が多い。また、近隣に複数の学校があることから、特に放課後の時間帯や休日における座席不足が課題であった。利用者へのアンケートでも、席を増やしてほしい、学習席を設置してほしい、という要望が複数寄せられていた。

工夫・留意した点

- 閲覧スペースの一部を新設の木製書架により区切り、耐久性に優れた国産木材の机・椅子を増設することで「読書・学習スペース」としてリニューアルした。席には仕切りをつけ、集中して読書や学習ができるよう工夫した。区切りとして設置した木製書架は、展示用に棚の角度変更ができ、また広報用の掲示板としても活用可能なものとしている。

取組の効果

- 他から区切られた空間の個々のスペースを確保し、温かみのある机・椅子で落ち着いて読書や学習ができる環境を整えたことによりゾーニングを行えた。座席数も増加し、混雑緩和につながっている。また、学習スペース利用者をターゲットとし、学習に役立つ図書等、テーマ展示を行うことで、読書活動の推進につながっている。

基礎データ

①令和7年度譲与額：98,759千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より